

● 7月3日(土) 曇 移動(当麻から層雲峡) 層雲峡YH泊

【私の誕生日・古希】

・3時前に目が覚めた、外の様子を見ると、ここは高台のため下の方に街の灯がよく見える。空はどうかと見上げたが曇っていて星一つ見えない。携帯で天気予報を見ると、午前中は曇で午後からは雨になるとのこと。今日は天塩岳へ登ろうかと思っていたが、取りやめだ。のんびりしようとシュラフに潜り込んだ。5時半、突然携帯のベルで起こされた、こんなに朝早くだれだ！なんとカズが誕生日祝いの電話をくれた、嬉しいね！

・6時過ぎに起きだし外を伺うと曇っているが雨は降っていない。今朝食べようと楽しみにしていた納豆が腐っていて食えず2個廃却。ご飯に煮卵、のりなどで朝食をすませた。

昨年も居た軽ワゴンの福山のお兄さん(松永さん)、今年もここに3月から来ているという。いったい毎日何をしているのか？温泉に浸かって一日ブラブラ、たまに名勝地へ出かけるという。もう一台多摩ナンバーの軽ワゴンが、昨年も居たそうだがあまり記憶がないおじいさん、もう20年以上もここに来ているという。ここは変な人が集まる場所だ、わたしもその一人か？



・小雨が降ったり止んだりしていたがそのうちに天候が回復し日が照りだした。こうなるとメチャメチャ蒸し暑くなる。今夜は層雲峡のユースホステル泊、ここから1時間も走れば着くからゆっくり出かければいい。衣類の洗濯をして万鑑旗よろしく車にぶら下げて干しながら、東屋の下で日差しを避け 風に吹かれてパソコンでメールをしたり計画の見直しとこれからの計画を立てたりの事務作業をしているうちに12時になったので昼食。



・まだ早すぎるが何もする事がないのでそろそろ出かけるか。目の前に「展望台」という標識があるので、どんどこか登ってみた。すぐ着くかと思ったら坂道や階段を結構登らされ、猛暑の中すっかり汗をかいて展望台に到着した。狭い展望台にベンチが置かれ、若いおばさんが一人でお弁当を食べていた。仕事の合間に昼食を摂りに登ってきたらしい。ちょっと前を失礼して展望台をぐるっと眺めて回った。澄んでいれば北に天塩岳、南に大雪山系が眺められるようだが、今日は、北は霞んでいて南は雲がかかっている何も見えない。

・1時過ぎに当麻の駐車場を出発、時間に余裕がありすぎるので50~60km/hの模範運転で層雲峡へ向けて南下した。展望台から見たとおり南下するに従い天候が悪化し途中雨にも降られながら2時前に層雲峡へ着いた。入口にあるいつものセイコーマートで明日のお弁当を調達しユースホテルへ。4時からチェックインなので当然誰もいない。食堂に入ってパソコンを広げ、いままでの写真の整理をしたりして時間をつぶした。

・さて風呂へ行こう。割引券を見ると、昨年までどちらも500円だったのが、今年は大雪荘が700円朝陽亭が600円に値上げされていた。当然朝陽亭へ行くことに。朝陽亭の風呂はすっかりリニューアルされていて、すばらしいというか、あまりにも凝ったつくりになっていて思わず苦笑してしまった。ゆっくりと入浴してYHに戻り、チェックインして今夜の寝床を確保した。夕食は6時半から、まだ2時間近くある。

・宿泊客はけっこういるが今年の客もあまり話をせずに黙々と食事をとる人ばかり。仕方がないのでひとりでビールで乾杯し古希の誕生日を祝った。メニューは鳥の唐揚げ主体のディナー。年々質が落ちている感じがする。明日は天気良ければ黒岳から北鎮岳へ登ろう。どうってことない古希の誕生日を終えて幸せ気分で床に入った。

● 7月4日(日) 晴のち曇のち雷雨 北鎮岳 当麻泊

・朝4時に目が覚めた。外を見るとなんと、青空が見える！

食堂は消灯されているがもううっすらと明るい。誰もいない食堂で一人でサンドイッチの朝食を摂った。コーヒーはコーヒーメーカーに出来ていて20円でサービス。朝の支度を整えて5時過ぎにYHを後にしてロープウエー駅へと向かった。といってもロープウエー駅はすぐ目の前だ。

・ロープウエーの始発は6時。1時間近く待って始発に乗り込んだ。今日は日曜日と言うこともあり始発に30~40人位の登山客が乗っていた。次はリフトに乗り継いで七合目へ向かうが、リフトの始発が六時半、しばらく待って一番に乗車した。結構長いリフトで椅子は二人乗り。新潟から登りに来たという団体のおばさんと乗り合わせ、色々話した。旭岳へ縦走するという。「私は毎年大雪山に来ているがいつも快晴。今日も天気は大丈夫でしょう。」と喜ばして別れた。



リフト乗り場に一番乗り

・長いロープウエーを下りたらなんと目の前に、昨年富良野岳で時期が遅かったため見ることができなかったエゾリソウが咲いているではないか！興奮を押さえて写真に収めた。ラッキー！



エゾリソウ

・登山者登録帳に記入して黒岳を目差して登り始める。天気はだんだん雲が出てきてあまり良く無さそう。若干季節が早いためか先回と違ってかなり雪が多い。何回も雪渓を登りながら1時間余りで黒岳山頂に立った。山頂はガスに覆われ視界が全くない。
今日はやはり天気はダメか。



今年は雪渓が多く残っていた



でもダメもとで石室までは行ってみよう、花の写真が撮れればいいさ、と石室へ向かって下っていった。

・と、どうだろう。ガスがだんだん晴れてきて陽も差し始め視界が開けてきた。道の両側には真っ赤で可憐なエゾツツジやコマクサ、メアカンキンバイ、イワヒゲ、エゾコザクラなどなどお花がいっぱい、写真を撮りまくった。



・石室ではすっかり晴れていて、当然今日の目標「北鎮岳」へ向かうことに。新潟のおばさんグループ4人のパーティーと前後しながらお鉢平展望台へ着くと 360 度の展望が待っていた。一昨年登った小泉岳、昨年登った北海岳、これから登る北鎮岳、遙か旭岳への縦走路も望めた。



お鉢平の展望

ここから北鎮岳へは急な雪渓を登って旭岳への縦走路との分岐に出たら山頂まで約1時間。途中のガレ場には可愛いエゾタカネスミレの群落が風に小刻みに揺れ疲れをいたしてくれた。



山頂まであと一息



岩場にはエゾタカネスミレが

・新潟のパーティーは北鎮岳へ登らず分岐を旭岳縦走へと行ってしまったようで、北鎮岳へは私一人になった。今まで晴れていた空も山頂に着いたらガスに覆われてしまい全く視界が無い。山頂には誰もいなくて寂しいし展望も無いので早々に下山を始めた。



北鎮岳山頂



帰りの黒岳山頂

道の両側に咲き乱れる花々を楽しみながら、さっき来た道を引き返した。石室手前で雨がぱらついてきて、すぐ止むかと思ったが逆にどんどん強くなり本降りに、おまけに雷まで鳴り出した。

こりゃヤバイと石室も休まず通過、一目散に黒岳へ。小降りになったので、ちょっと休んでから下山を急いだ。雨は強くなったり弱くなったり、相変わらず雷が鳴っている。こんな天気なのに登ってくる人がかなりいる。リフトとロープウエーを乗り継いで13時30分に層雲峡に無事到着した。天候は本格的な雷雨となり、リフトが停止したとのアナウンスがあった。良かった！少し下山が遅れたら山の上に取り残されるところだった。

・濡れた衣服を車の中で着替え、とにかく雨の層雲峡を脱出すべく北の当麻を目差し車を走らせた。途中から雨が上がり当麻は予想通り晴れていた。当麻の駐車場には例の多摩のおじさんが滞在しており、濡れた衣類を干しながらおじさんといろいろ話をしてきたが、雨がパラついてきたので、干し物を取り込んでから風呂へ行った。風呂では福山のお兄さんがテレビを見ていた。いつもここでこうやって一日過ごしているらしい。風呂から上がった空はすっかり晴れ上がっていて暑い。

・パソコンに今日撮ってきた花々の写真を取り込んでいたら、隣の止まっている神戸ナンバーのキャンピングカー（3日前からここに泊まっている）のおばさんが声を掛けてきた。ご夫婦で北海道の山を歩いていて、どちらかといえばマイナーな山を歩き花々を追いかけているという。すっかり私と話が合って楽しい会話がはずんだ。摩周湖の東の西別岳が花がきれいで良い山だと教えてもらった。パソコンの作業も終わり、やきとりとビールで夕食が始まった。そろそろラーメンの主食に取りかかるか。

・今日うまく天気の晴れ間をついて北鎮岳へ登ることが出来た。やはり大雪山は花が多くて楽しい山だった。

明日は昨年のリベンジで天塩岳へ登ろう。